

警戒レベルととるべき行動

安全に避難するためのタイミングは？

緊急避難のタイミングは様々な情報から判断しましょう。気象情報に注意し、市からの避難情報や周囲の人の呼びかけがあったら、速やかに避難しましょう。

危険を感じたら
すぐに避難しよう！



気象情報 (気象庁・県が発表)	避難情報 (浅口市が発令)	とるべき行動
警戒レベル 5 相当情報 ●大雨特別警報 ●氾濫発生情報	警戒レベル 5 災害発生情報 ※避難情報ではありません	・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする
警戒レベル 4 相当情報 ●土砂災害警戒情報 ●土砂災害危険度情報(うす紫) ●高潮特別警報、高潮警報	警戒レベル 4 避難 ●避難勧告 ●避難指示(緊急)	・災害に対応した避難所へ避難する ・屋外が危険な場合は近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋に移動する
警戒レベル 3 相当情報 ●大雨警報(土砂災害) ●洪水警報 ●土砂災害危険度情報(赤) ●高潮注意報	警戒レベル 3 高齢者等は避難 ●避難準備、高齢者等避難開始	・避難に時間のかかる方は避難をはじめめる ・その他の方は、避難の準備をし、自発的に避難する
警戒レベル 2 ●大雨注意報 ●洪水注意報 ●高潮注意報		避難行動を確認する
警戒レベル 1 ●早期注意情報(警報級の可能性)		災害への心構えを高める

警戒レベル 3 避難準備をしてください。避難に時間のかかる方は、避難をはじめてください。	警戒レベル 4 速やかに避難を開始してください。	警戒レベル 5 ただちに命を守る行動をとってください。
--	------------------------------------	---------------------------------------

浅口市洪水・土砂災害・津波 ハザードマップ



■里見川水系浸水想定区域図について

- この図は、里見川水系里見川及び支川の道口川、鴨方川(以下、「対象河川」という)について、想定される水深その他を表示した図です。
- この洪水浸水想定区域図は、対象河川の河道の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨(流域の24時間総雨量198mm)により対象河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫等、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

(作成主体：岡山県 指定年月日：平成31年4月19日)

■土砂災害(特別)警戒区域とは

土石流や急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

▶土砂災害特別警戒区域

土石流や急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

▶土砂災害警戒区域

土石流や急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

■岡山県津波浸水想定について

国が平成24年8月に公表した南海トラフ巨大地震による津波高及び浸水域等の推計を受け、県ではより詳細な地形データを用いるなどにより、津波浸水想定図を作成しました。

この津波浸水想定図は、津波防災地域づくりに関する法律第8条第1項の規定により県が設定することとされている津波浸水想定(最大クラスの津波が悪条件下で発生した場合に想定される浸水の区域及び水深)であります。なお、今回作成した津波浸水想定図は、科学的知見に基づき想定される最大クラスの津波をもたすこととなる、南海トラフ巨大地震が発生した場合の本県における津波浸水想定ですが、こうした地震・津波の発生頻度は極めて低いものであり、次に発生する地震・津波を示したものではありません。さらに、地震・津波は自然現象であり不確実性を伴うものことや、現在の科学的知見には限界があることなどに留意する必要があります。

※津波浸水想定留意事項

浸水域や浸水深は、地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。また、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにもご注意ください。今後、数値の精査や表記の改善等により、「浸水想定区域」の修正の可能性があります。

浅口市津波 ハザードマップ

津波のおそれのある地域の拡大しています。
(令和2年3月現在)



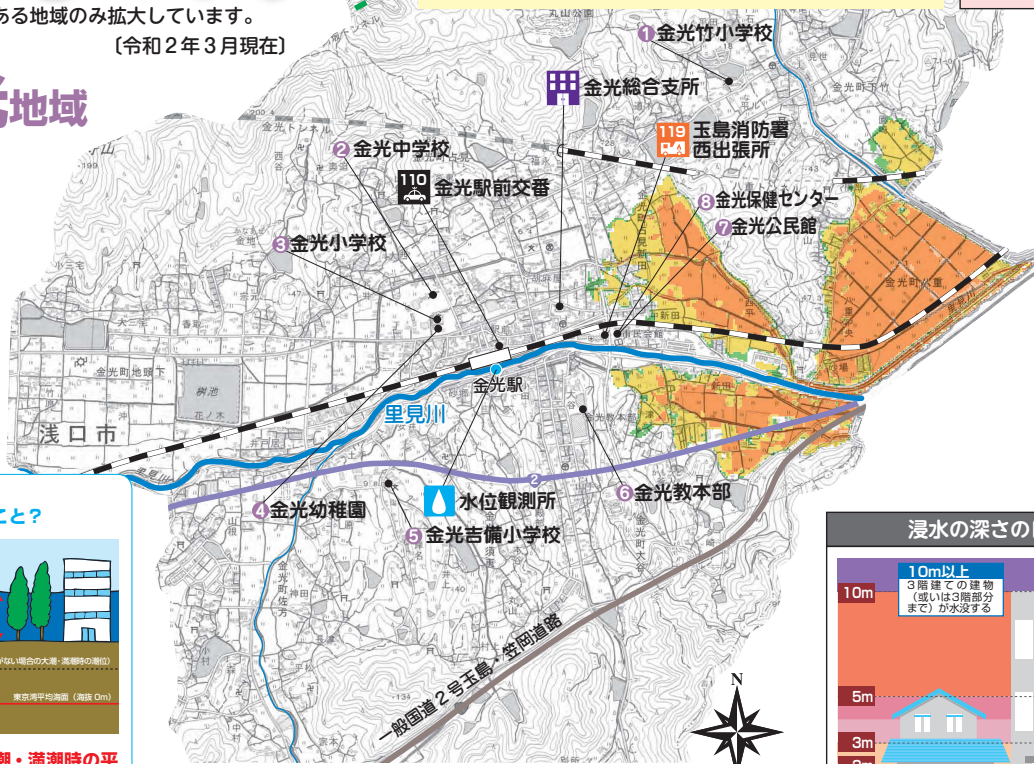
- 凡例**
- ①~⑧ 避難所
 - 線路(JR)
 - 市役所・支所
 - 119 消防署
 - 110 交番
 - 山陽自動車道
 - 水位観測所

このマップは、岡山県がこれまでに行った津波浸水想定区域の調査結果に基づいて、住民の皆さんの避難に役立つように作成したものです。

また、この図には危険箇所を示していますが、表示のない場所でも災害が発生するおそれがあります。また、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにもご注意ください。今後、数値の精査や表記の改善等により、「浸水想定区域」の修正の可能性があります。

津波浸水想定区域について

この図は岡山県が平成25年3月に公表した「南海トラフ巨大地震(マグニチュード9.1)による津波浸水想定区域」をもとに作成したものです。津波のおそれのある場合は、いち早く高い所へ避難しましょう。



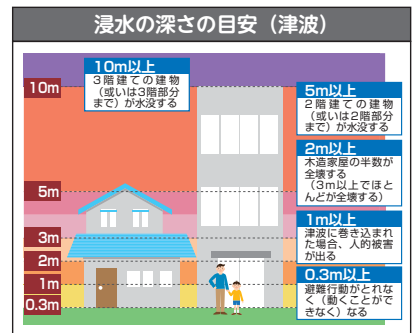
津波浸水想定浸水深

5.0m-10m 未満
4.0m-5.0m 未満
3.0m-4.0m 未満
2.0m-3.0m 未満
1.0m-2.0m 未満
0.3m-1.0m 未満
0.01m-0.3m 未満

▶浸水深とは
場所ごとで水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さのことです。

Q 「最大津波高」とはどこの高さのこと？

A 最大津波高は、大潮・満潮時の平均+発生した津波の高さのことで
津波の波長は非常に長く、浅い海岸付近に来ると波の高さが急激に高くなる特徴があります。



1 : 27,700
500m 0m 500m 1000m 1500m